

# 波・メール通信句会

第81回 令和八年一月

富山ゆたか

作者一句（互選・得点順）

乾鮭のあぎとに残る気概かな

病院のリハビリ室に初日さす

碧落に天馬の駆くる年始状

山田せつ子  
菅谷 瞳  
飯野 深草

山田せつ子  
菅谷 瞳  
飯野 深草

山田せつ子  
菅谷 瞳  
飯野 深草

乾鮭のあぎとに残る気概かな  
病院のリハビリ室に初日さす  
が伝わつてくる。今年もよろしくお願ひいたしま  
す。  
(山田せつ子)

## 主宰特選三句

今日だけは特別な鳥初雀

岡坂ゆう子

伊藤真理子

乾鮭のあぎとに残る気概かな  
病院のリハビリ室に初日さす

毎朝、庭に来る雀たち。見慣れた雀はある  
が、可愛いもの。新年初の雀と見れば、特別な語  
がつくのも尤もな事である。

面取りて碧き双眼里神楽  
寒雷か歪む平和の地響きか  
寒月の肌に触れる家路かな  
いたずらを黙考中の寒鴉  
願かけに出雲大社へ雪女郎

帆川 透  
大谷みどり  
山下 遊児  
宮川 敏江

病院のリハビリ室に初日さす  
教科書にある明治の洋画家高橋某の絵画を想起  
した。力強さに打たれる。  
(稻吉豊)

有明の月強張りて寒の入り  
見方によつてはやゝ当たり前とも言えるが、中七  
の措辞「強張りて」が寒の入りにうまく呼応し  
た。

軒合ひを割つて朝の日寒すづめ  
霜柱きのうの憂さを押し上げる  
ひととせを閉ざせる雨戸石蕗の花  
淑氣満つ表参道松並木

稻吉 豊  
霧野萬地郎  
亀倉美知子  
田中 順子

病院のリハビリ室に初日さす  
元旦の静まり返つた病院は何となく寂しく感じ  
ますが、リハビリ室にさす初日からは、明るい今年  
の希望が伝わつてきて、心に響きました。  
(田中順子)

裸木や本音で生きる潔さ  
人前ではつくろうこともある人間。全ての葉を  
落とし切つた潔さに敬意を表された作者がみえて  
くる。

岡坂ゆう子  
手土産のカステラ開く女正月  
カザルスのチエロの幽けし冬の星  
初詣虚子の谷倉と立子墓碑  
初夢にこころ湧き立つ旅日記  
霜柱踏み締め向かふコンポスト

山崎 美紀  
富山ゆたか  
廣田 洋々  
山田 節子  
坂本 弘道

碧落に天馬の駆くる年始状  
「天馬空を行く」の諺のように、天馬が大空を自  
在に駆けている年賀状が届いたのだ。この天馬に  
乗つている詩神のミューズを想像。(富山ゆたか)

## 主宰入選五句

鶲鳴の空の明るく初詣

大平 政弘

山崎 美紀

面取りて碧き双眼里神楽  
里神楽とインターなショナルのコラボが絶妙で

とりどりの鳥で華やぐ枯大樹  
寄り添ふが一の癒しや虎落笛  
ツリーハウスは空のラウンジ冬うらら

風野 でら  
鎌田紀三男

風野 でら  
山田 節子  
坂本 弘道

あり、なんとなくまつたりとした光景が目に浮か  
ぶ。  
(粹狂子)

帆を上げし鹿児島一人初句会

関美 晴

山崎 美紀

面取りて碧き双眼里神楽  
寒雷か歪む平和の地響きか  
自然(寒雷)が人為(平和を歪ませる人間)を

諫めているとも読みとれます。  
(飯野深草)

帆を上げし鹿児島一人初句会  
関美 晴

帆を上げし鹿児島一人初句会  
関美 晴